

令和 8（2026）年度
学習院大学大学院
政治学研究科・博士前期課程
博士前期課程
試験区分（一般・B 日程）
入学試験問題

9:30～11:30	12:30～14:00
総合問題（英語含む）	専門科目※

※日本政治・政策研究コース：「政治学」または「行政学」（出願時にいずれか 1 つを選択）

※国際関係・地域研究コース：「国際関係論」（出願時に「国際関係論」のみを選択）

※社会・公共領域研究コース：「社会学」「社会心理学」「政治思想史」または「公共哲学」（出願時にいずれか 1 つを選択）

令和 8 (2026) 年度

学習院大学大学院
政治学研究科 博士前期課程

一般入試問題 (B 日程)

2 時限目

専 門 科 目
(社会・公共領域研究コース)

1. 解答用紙裏面の使用を認めない。
2. 解答用紙の追加を 1 枚まで認める。

(注意)・答案は必ず提出すること。・太線内は必ず記入すること。

学習院大学大学院

課 程	博士前期課程	研 究 科	政治学研究科	専 攻	政治学専攻	受 験 番 号	フリ ガナ	
							氏 名	
試 験 科 目	令和8年度 一般入試(B日程) 専 門 科 目 (社 会 学)			備 考	問 題 用 紙		採 点 欄	

問題 以下の3つの設問に答えてください。

設問1 以下の4つの用語のうち2つを取りあげて、その概念を提示した研究者、またはその考え方をとる代表的な研究者の名前を挙げながら、その意味をそれぞれ5行程度で説明してください。回答の冒頭に選んだ用語と番号を示すこと。

- (1) 個人化
- (2) エスノメソドロジー
- (3) 相対的剥奪
- (4) 社会関係資本

設問2 以下の6つの用語のうち3つを取りあげて、その意味をそれぞれ5行程度で説明してください。回答の冒頭に選んだ用語と番号を示すこと。

- (1) 世俗化
- (2) 地位達成モデル (地位達成過程)
- (3) ラベリング
- (4) 障害の社会モデル
- (5) ソーシャルメディア
- (6) インターセクショナリティ (交差性)

(次頁に続く)

課 程	博士前期課程	研 究 科	政治学研究科	専 攻	政治学専攻	受験 番号		フリ ガナ	
								氏 名	
試験科目	令和8年度 一般入試(B日程) 専 門 科 目 (社 会 学)			備 考	問 題 用 紙			採点欄	

設問 3 日本に住む中学 2 年生 3000 人に対して、将来大学に進学したいかどうかを尋ねる調査を実施したとする^{※)}。

きょうだいの人数	将来、大学に進学したいか		合計
	進学したい	したくない	
1 人 (一人っ子)	350	150	500
2 人	900	600	1500
3 人以上	500	500	1000
合計	1750	1250	3000

設問 3-1 きょうだいの人数によって、回答傾向にどのような違いがあるだろうか。適切な値を計算してその違いについて説明したうえで、なぜそうした違いがあるのか、その解釈を合計 5 行程度で論じてください。

設問 3-2 設問 3-1 で述べた解釈が正しいのかを確かめるためには、どのような調査や分析を行うとよいだろうか。調査の対象、方法、分析の方法などについて、合計 5 行程度で述べてください。

^{※)} 上記に示された数値は実際の調査の結果ではなく、架空の数値である。

(以上)

(注意) ・答案は必ず提出すること。 ・太線内は必ず記入すること。

学習院大学大学院

課 程	博士前期課程	研 究 科	政治学研究科	専 攻	政治学専攻	受験 番号		フリ ガナ	
								氏 名	
試験 科目	2026年度 一般入試(B日程) 社 会 学			備 考	解 答 用 紙		採 点 欄		

5

10

15

20

25

30

(注意)・答案は必ず提出すること。・太線内は必ず記入すること。

学習院大学大学院

課 程	博士前期課程	研 究 科	政治学研究科	専 攻	政治学専攻	受験 番号		フリ ガナ	
								氏 名	
試 験 科 目	2026年度 一般入試(B日程) 社 会 学			備 考	解 答 用 紙			採 点 欄	

5

10

15

20

25

30